

図書館だより

発行 多可町図書館

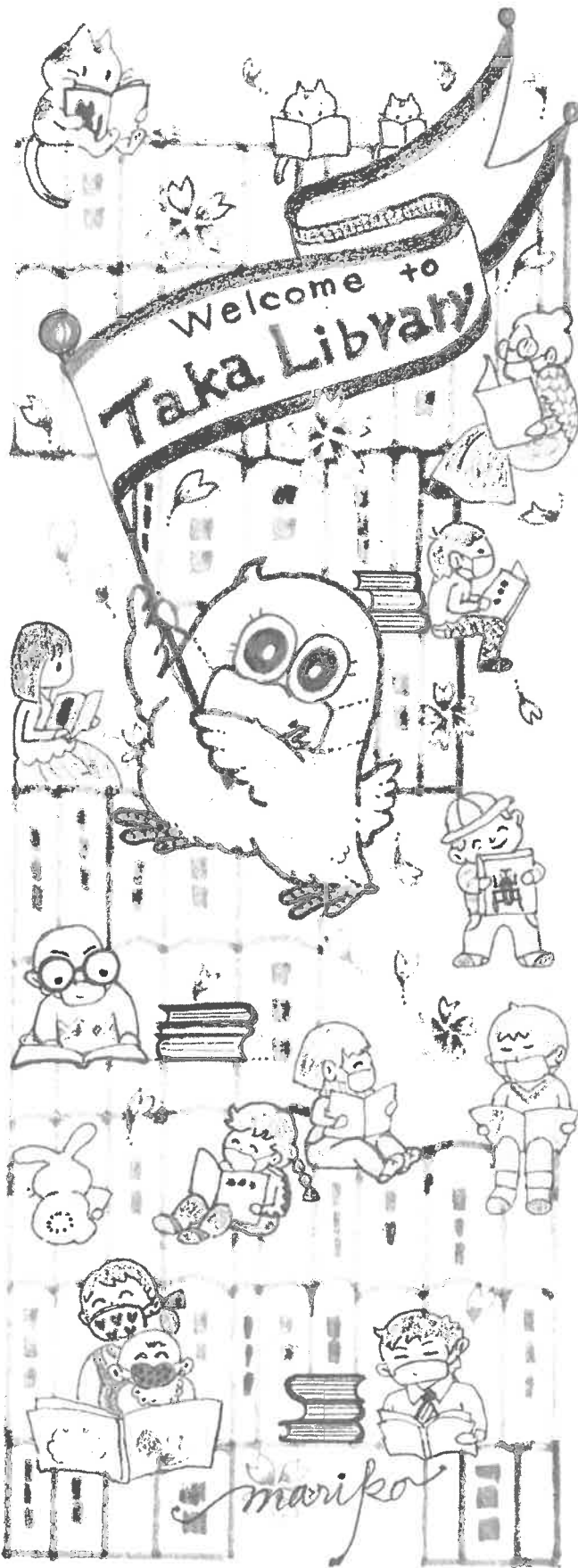
〒679-1133

多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<https://www.town.taka.lg.jp/library/>



「ワクワク図書館へ行こう」

多可町教育長

越川昌信

「ピカピカの一年生」こんなキャッチコピーがぴったりの季節がやって参りました。ご家族の中には新たな門出を迎えられた方もいらっしゃるかと思います。このたび、一足早く「ピカピカの一年生」となりました教育長の越川昌信でございます。どうかよろしくお願い申し上げます。

さて、多可町では、向こう5年間で子どもたちの読書活動をより一層進めていくために「第3次多可町子ども読書活動推進計画」をつくりました。主な取組をあげます

と、多可町図書館では、ご好評いただいております学校園や児童館、子育てふれあいセンターなどへの「出前図書館」という貸出サービスをより一層進めます。また、4月23日は「子ども読書の日」(「こどもの読書週間」は4月23日〜5月12日)ですが、それに合わせて特別おはなし会の開催や特集コーナーの設置をし、子どもたちの読書活動への支援をおこないます。ぜひ、ご利用ください。

ところで、私は小学生の頃、冒険小説が大好きでした。冒険小説を読むと自分がタイムマシーンに乗ったかのようなワクワクした感覚を味わうことができました。また、

担任の先生から給食の時間に読み聞かせをしていただき、続きをワクワクして待っていたことを今でも鮮明に覚えております。

今、多可町では子どもたちに1人1台のコンピュータが配備され、学びを取り巻く環境が大きく変わりました。こんな時だからこそ、コンピュータとともに身近に本がある環境をつくり、ワクワクしながら読書も楽しむ子どもたちが多くなることを期待しています。「出前図書館」はそのための取組で、ご家族そろって本に親しんでいただくきっかけになれば幸いです。

ぜひ、図書館にお運びいただきワクワクする本との出会いを味わってください。

言の葉だより

日本資本主義の父

渋沢 栄一 編

令和の新1万円札の肖像画にも選ばれた栄一は、江戸時代末期、武蔵野国(現在の埼玉県深谷市)に生まれます。彼の家は主に藍の葉を農家から買い付け紺屋(染物屋)に売ることを生業としており、農家でありながら商人も兼ねていました。栄一の父は彼に幼い頃より漢文を習わせ、四書五経まで学ばせています。そんな経験が活かされたのか、代理で藍の買い付けに出かけた時も、13歳にして取引を成功させ周りを驚かせます。

商売の面白さに気づく一方、常々、武士の理不尽な振る舞いに憤りを覚えていた栄一は、次第に尊皇攘夷へと傾倒。高崎城を乗っ取るという大胆な計画を企てますが、実行直前、従兄弟の説得によって断念しています。そんな中、かつて交遊のあった平岡円四郎という人物の声かけで、一橋家の慶喜に仕えることとなります。そこで様々な改革を実行し、手腕を発揮します。

26歳の時、将軍になった慶喜からパリ万博使節の一員に任じられ渡欧。そこで株式制度などを学びます。倒幕により帰国を余儀なくされますが、その類いまれな能力を買われ、今度は一転、新政府の一員として働くこととなります。その事業は廃藩置県の立案、藩札を廃止する貨幣制度の改革など、現代の日本社会の礎になるものばかりです。

33歳の時、民間にも人材が集まらなければ国は豊かにならないと大蔵省を辞め、第一国立銀行や抄紙(製紙)会社などを創立。彼が設立に関わった会社の数は500以上あるといわれています。そして得た利益は公のために使うべきと、福祉や教育などの慈善事業にも尽力し、多くの功績を残しています。

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 4月 —						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

— 5月 —						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

— 6月 —						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

※蔵書点検に伴う休館のお知らせ
八千代図書室 4/15 加美図書室 4/16
多可町図書館 4/21~23

休館日

道理が正しいか、時運に適しているか、
人の輪を得ているか、
おのが分にふさわしいか。
— 「事業を始める前に先ず考えるべきこと」として
栄一が息子たちに語った言葉より —

渋沢栄一さんに関するクイズです。

- I. 大蔵省を退職後に設立した第一国立銀行は現在の何銀行でしょう
①三井住友 ②みずほ ③三菱UFJ ④りそな
- II. 将軍慶喜公の弟、昭武氏につきそいパリへ随行した時に衝撃をうけたこととは?
①スエズ運河の工事 ②蒸気機関車の往来
③紡績工場の発展 ④舗装された道路
- III. 昭和の初め、悪化する日米関係を緩和することを目的とした事業を企画。それは何?
①交換留学生受入事業 ②伝統工芸品の交換事業
③国花(桜とバラ)の交換事業 ④人形交換事業
- IV. 「道徳経済合一説」を唱え続けた栄一が書いたビジネス本は?
①論語と算盤 ②礼記と算盤
③中庸と算盤 ④儒教と算盤
- V. 2024年に発行される新1万円札裏面に描かれる予定の絵柄は何?
①日本銀行 ②富嶽三十六景
③東京駅 ④東京証券取引所
- VI. 経営方針や経営理念を巡って栄一と対立。「東洋の海上王」と呼ばれた人物とは?
①五代友厚 ②岩崎弥太郎 ③新島襄 ④森有礼

【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『伝記を読もう 渋沢栄一』(あかね書房)、
『この人を見よ! 歴史をつくった人々伝 25 渋沢栄一』(ポプラ社)、
『小学校では学べない渋沢栄一のやりぬく力』(KADOKAWA)

【こたえ】I・② II・① III・④
IV・① V・③ VI・②

みどりこども園 5才児 4才児

1/7、14

みどりこども園の5歳児23名、4歳児14名の子どもたちが、元気いっぱいに来館してくれました。おはなし会では、牛が登場する紙芝居や雪をテーマにした絵本、ストーリーテリング、大型絵本を楽しみました。みんなとても熱心におはなしをきいてくれました。



その後、館内で一人ひとりお気に入りの本を見つけて、カウンターで貸出手続きをしました。図書館で楽しい時間が過ごせたかなあ？

親子で楽しむ 手遊び・工作の時間

3/7



講師は、三田市で子育て支援コーディネーターとして活動されている、長野薫さん。親子連れやおはなしの会の会員など、17人が参加しました。子どもを手で優しくマッサージしてあげることで発達が促されたり、表情が増えたりするという“タッチケア”について学び、実践しました。子どもたちはとても気持ちよさそうな表情を浮かべていました。「読み聞かせの時も、手遊びやふれあい遊びをまじえながら行うとよいですよ」と長野さん。他にもエプロンシアターを見たり、身近な素材を使った工作を行ったりと、笑い声の絶えない楽しい時間を過ごしました。



かるた会 1/9

「百人一首」には5人が参加し、6年生は源平戦、4・5年生は3人1組でちらし取りを行いました。読み手が下の句を読み終わってもなかなか見つからないこともあれば、上の句が読まれるやいなや手が伸びることも。最後まで白熱した戦いが繰り広げられました。小学3年生以下の「いろはカルタ」には、13人が参加。未就学児の中には、家で一生懸命練習してきてくれた子もいました。真剣な中にも楽しそうな雰囲気にも包まれたかるた会。来年も来てくださいね。



図書館がより便利に!!

コロナ禍、もっと便利に図書館を使っていたらこうと、在庫図書に対する取り置き予約が可能に、さらに貸出期間もWEB上からご自身で1回限りですが、延長することが可能となっています。また、以前より毎週土曜日にはメールマガジンを配信しています。登録したキーワードに該当する本が入荷した時、メールでお知らせが届く仕組みになっています。便利なシステムを上手に使っておうち時間を楽しんでみてくださいね。

※WEB上の手続きはいずれも事前に設定が必要です。



Book menu

『沈黙』



村上春樹／著
全国学校図書館協議会
ジャンル:小説 (Fムラ)

『空がおしえてくれること』



蓬萊大介／著
幻冬舎
ジャンル:実用書
(451ホ)

『ピッグル・ウィッグル おばさんの農場』



ベティ・マクドナルド／作
岩波書店 (K933マ)
ジャンル:児童書

「沈黙」といえば、遠藤周作の代表作として有名ですが、村上春樹にも同名の作品があることをご存知でしょうか。
主人公は大沢さん。その大沢さんに「これまでに喧嘩をして誰かを殴ったことはありませんか？」と、ほんのちよつとした好奇心にくすぐられた僕が訊ねる場面から始まります。
その、ほんのちよつとした好奇心のもとになったのは、大沢さんが中学生のころからずっとボクシングのジムに通っているという聞いていたことでした。それまでに何度か一緒に仕事をしていたきたけれど、大沢さんは物静かで、仕事ぶりは誠実で、どんなに忙しいときでも他人を攻撃したりしない人柄で、どう考えてもボクシングとの結びつきに合点がいかなくつたのです。
しかし大沢さんは、「僕は一度だけ人を殴ったことがあります」と答え、中高生時代にあった忌まわしい思い出を話し始めます。
人として大切なことをじっくり確かめることができる短編です。特に若い世代のみなさんにぜひ読んでいただきたい作品です。(ゆ)

身近な存在の空。しかし意外と知らないことも多いのではないのでしょうか。この本では、気象予報士の著者が「〇〇がおしえてくれること」と題して様々な天気を解説しています。
「晴れ」と「くもり」の境目をどこで分けるのか？
正解は、雲の割合。空を見上げた時、9割以上雲があると「くもり」なのだそう。ちよつと意外な割合ですね。また雨の日は憂うつになりがちですが「雨は『花の父母』」など、雨を好ましく考える言葉も掲載されています。
毎年のように更新される記録的猛暑や、観測史上初めて沖縄で雪が降るなどといった驚くべきニュースを耳にします。これは日本の上空を西から東へ、南北に蛇行しながら吹いている「偏西風」が原因です。蛇行が大きくなることで、偏った天候になるのだとか。著者は個人の見解としながらも「地球温暖化が偏西風の蛇行を大きくさせている」と述べています。
日々の天気や自然への関心を深めると同時に、大切な命を守るため、災害に備える心構えを身につける、きっかけになる1冊です。(あ)

いったいこの世に、お父さんやお母さんたち大人を少しも困らせない子どもがいるのでしょうか。どんな子どもにも、ちよつとした悪癖や困ったところがあるものです。誰もが、よりよく成長したい、その途中にあるのですから。
さて、ピッグル・ウィッグルおばさんはたくさん動物たちといっしょに郊外の農場で暮らしています。イヌのワグ、ネコのライトフット、牛のアーバタスに馬のトロツキー、そしておしゃべりするオウムのペネロペ。ほかにブタやニワトリたちもいます。
そんなおばさんたちと農場で暮らすうち、さまざまに嘘つきで両親を困らせていたフェットロックは、嘘を言わなくなり、あらゆる物をバラバラに分解してしまうジェイも立派な修理屋さんになります。常に気が散っている探し物が出来なかつたモートンさえ、世界中の誰より物を見つめるのが上手な子になるのです。農場での仕事、自然や動物たちとの関わりから、子どもたちはみんな自分の力で、困りごとを克服し成長していくのです。(り)

「2021年本屋大賞」ノミネート作品

4月14日(水)に選考会が行われ、受賞作が決定します

候補作家	作品名	出版社	候補作家	作品名	出版社
伊吹 有喜	犬がいた季節	双葉社	深緑 野分	この本を盗む者は	KADOKAWA
青山 美智子	お探し物は図書室まで	ポプラ社	町田 そのこ	52 ヘルツのクジラたち	中央公論新社
宇佐見 りん	推し、燃ゆ	河出書房新社	山本 文緒	自転しながら公転する	新潮社
加藤 シゲアキ	オルタネート	新潮社	伊与原 新	八月の銀の雪	新潮社
伊坂 幸太郎	逆ソクラテス	集英社	凧良 ゆう	滅びの前のシャングリラ	中央公論新社

「親子で楽しむ読書の時間」
子育て支援コーディネーター
長野 薫

ついつっぱなしのテレビの音が鳴り響く家中、子ども3人のおしゃべりと、それに負けないようにしゃべる私の声。子ども達が起きてから寝るまでわいわいがやがやが一日中続いていました。

長女小1、長男年中、次女1歳の時に引っ越しをする事になり、思い切ってリビングにテレビを置かないことにしました。私は小さい時からテレビが大好きなテレビっ子だったのでこれは苦渋の決断でした。

でもこれが大正解。テレビの音が消えたのでだいぶ静かになり、私もテレビに振り回されることもなくなり、子ども達それぞれ

れに向き合って話を聞くことが出来ました。そして子ども達が本をよく読むようになりました。

その後、近所に移動図書館が来ていることを知りました。移動図書館が来ると近くの親子がたくさん集まり、たくさん本を抱えて帰ります。我が家もたくさん本を抱えて帰ると、子ども達は学校や幼稚園から帰ってくると本を見つけて夢中で読んでいました。

長女が高学年になる頃、近くの市民センターに図書館の分室が出来ました。子ども達も大きくなり長い物語を読むようになったので司書さんに相談して本を選んでもらいました。新刊が出る時は予約をして、借りてきたら誰が先に読むかジャンケンで決

めて親子で競争して読んでいました。

子ども達は漫画ばかり読んでいた時期もありましたが、また色々な本を読んでいるようです。

今、世の中はスマホやタブレットを見ることが多くなっていますが、私は本のページをめくる時に感じるわくわく感が大好きです。そのわくわく感を子ども達にも感じて欲しいので、携帯やテレビではなく、お父さんやお母さんの声で子ども達に伝えることが大切ではないかと思っています。親が読み聞かせることで親子一緒に感じる事が家族のふれあいにも繋がると感じています。

是非、お母さん、お父さんが子ども達に絵本や物語を読んであげて一緒に楽しんで下さい。



ことは

言の葉だより

まさを

河合 雅雄 編

霊長類学のパイオニア

河合 雅雄 編

世界的に有名な霊長類学者の河合さんは、大正 13 年、現在の丹波篠山市で生を受けます。幼児期は体力にも恵まれた活発な子どもだったのですが、百日咳に端を発し小学 3 年生の時には小児結核を発病。そのため小学校には半分くらいしか登校できませんでした。ただその分、多くの本を読んで過ごし、それが後タイムマシネーションの世界を楽しむことに役立ったと振り返っています。病弱であったにも関わらず、山や川など、自然の中で遊ぶことが好きで、様々な動物の飼育にも興じています。そのため近所の人から「動物園長」と呼ばれることも。後に動物学を専攻するようになった素地は子どもの頃に作られていたといえます。

大学進学後は半世紀以上にわたってサルを研究し、“ニホンザルの芋洗い行動”といった文化的行動も発見。日本モンキーセンター、京大霊長類研究所でもその草創期から関わり様々な霊長類を研究されています。「どうしてサルの研究を？」という質問をよくされたそうです。ひとつには動物が好きで、特にサルの行動や社会は特別複雑で高度な内容を持っているからだそうです。ふたつめの動機は戦争体験で、人はどうして戦争をするのが、悪とは何かについて考えるとき、生物の進化、人類進化を舞台にしての研究が最もふさわしいからだそうです。

晩年は故郷・丹波篠山に戻り、兵庫県立人と自然の博物館長、県立丹波の森公苑長などを歴任。地元の方とともに自然再生に取り組み、子ども達に自然を体験してもらう活動を精力的に行われていました。また、霊長類学者としての顔を持つ一方で児童文学や童話も数多く執筆され、自伝的小説『少年動物記』は映画化もされています。

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 7月 —

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

— 8月 —

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

— 9月 —

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

休館日

【こたえ】Ⅰ・・・② Ⅱ・・・③ (ペンネームは草山万兎) Ⅲ・・・④ Ⅳ・・・④ Ⅴ・・・③

霊長類学とは、霊魂あるいは幽霊を研究する学問かと問われて、思わずのけぞってしまったことがあった。今ではかなり社会的認知をえているが、サル学という方が通りがよい。

— 『私の履歴書 科学の求道者』より —

河合雅雄さんに関するクイズです。

Ⅰ. 「サルの芋洗い行動」が発見された場所は？
①高崎山 ②幸島 ③小豆島 ④箕面

Ⅱ. 河合さんが児童書を書くときに使っているペンネームに入っている動物は何？
①猪 ②猿 ③兎 ④鹿

Ⅲ. 兄弟による四重奏団を作りました。その時に担当した楽器は何？
①フルート ②ヴァイオリン
③ヴィオラ ④チェロ

Ⅳ. 晩年、使用していた歩行補助車のことを河合さんはユーモアたっぷりに「僕の〇〇」と表現しています。その〇〇とは何？
①ボルシェ ②ベンツ
③フェラーリ ④ロールスロイス

Ⅴ. 県立丹波の森公苑のオープンに際し、オオムラサキなどの幼虫が育つようある木の植栽を提案します。その木とは。
①ヒノキ ②マツ ③エノキ ④クヌギ

【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『私の履歴書 科学の求道者』今西錦司ほか／著 日本経済新聞社出版、神戸新聞(2021. 5. 16 付)

少年動物記

ドエクル探検記

河合雅雄の動物記 大草原のウサギとネコの物語

中町北小学校の2年生が図書館見学に来てくれました。おはなし会では語られる昔話に聞き入り、絵本を楽しみました。つづいて、実際に書架を見ながら、どんな本があるのか、そしてどのように並べられているのかなど、図書館についての説明を受けました。使い方を知ってもっと便利に図書館を使ってくださいね♪



教科書法定展示会が多可町図書館で開催されました。現在、多可町の小学校、中学校で使用されている教科書、全国で使用されている教科書を展示し、教育関係者が行う教科内容の研究や教科計画作成に役立てたり、保護者やその他一般市民のみなさんが教科書についての関心や認識を深めたりしてもらうことを目的として行われています。県内38カ所（北播磨管内では、小野市立図書館と多可町図書館の2箇所）で開催され、来館された方も興味を持って見学されていました。



あたらしい雑誌が入りました♪

『日本カメラ』が休刊となったことを受けて、リクエストが多かった『やさいの時間』が新しく入りました。もちろんこれ以外にもいろいろなジャンルの雑誌、約80タイトルを所蔵しています。



図書館には小説や学術書だけでなく、このように、ちょっと見て楽しむ雑誌もそろっていますので、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

起業支援



3月13日（土）に加美区のベロカフェにて開催されたセミナー“多可起業力レッジ”に出向き、起業に役立つ本を紹介させていただきました。広報6月号「特集 多可町で創業・起業」のコーナーでも紹介しています。ぜひ、ご活用ください。

かわいい手作りバッグやしおり



図書館をご利用いただいている八千代区の宮崎緑さんから、こんなかわいい手作りのかばんをいただきました。マスクを入れるのもよし、文庫本を入れるのもよし♪ 特別おはなし会などの参加者に景品としてプレゼントしたいと考えています。

宮崎さんのほかにも、しおりをいただいた方もあり、有効に活用させていただいています。みなさんありがとうございました。

予約ベスト10

(6/10 現在)

予約の多い人気図書をご紹介します。予約が多いので順番待ちになりますが、違うジャンルの本と出会うきっかけになるかも…。

順位	タイトル	著者	予約件数
1	白鳥とコウモリ	東野圭吾	19件
2	52ヘルツのクジラたち	町田そのこ	17件
3	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野圭吾	17件
4	小説8050	林真理子	16件
5	犬がいた季節	伊吹有喜	13件
6	心淋（うらさび）し川	西條奈加	12件
7	いのちの停車場	南杏子	11件
8	推し、燃ゆ	宇佐見りん	11件
9	自転しながら公転する	山本文緒	11件
10	オルタネート	加藤シゲアキ	10件
10	元彼の遺言状	新川帆立	10件

人間飛行が可能になった近未来、月面で不可解な遺体が発見されました。チャーリーと名付けられたこの遺体は、生物学的には現生人類の様相を呈しているにもかかわらず、5万年前のものであると判明します。

地球では国連宇宙軍にあらゆる分野の専門家が集結、チャーリーについて数々の仮説、検証が繰り返されます。科学者たちは多くの矛盾に悩まされながらも、チャーリーや彼の種族がかつて火星と木星の間に在った惑星ミネルヴァの住人であったことをつきとめます。チャーリーがなぜ母惑星からはるかに離れた地球の月にいたのか、その謎から推察される人類の出自までもが信じられない展開を持って語られます。

人類進化におけるミッシングリンク、月の起源と表裏半球の不整合、小惑星帯といった実際の謎について、物理学者ハントや生物学者ダンチェツカーの解明こそが、太陽系の本当の歴史だったのではないかと考えてしまうほどです。ハント博士がガニメデの地表から見上げた木星の壮麗な姿、圧巻です。（り）

栄養価の高い十分な食事と個人の健康意識の高まりや、医療技術の進展による3大死因といわれる悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡率の改善により平均寿命は年々延びています。しかしながら長生きすることによって、発症率が高くなってくる病気もあり、その中の代表的なものが認知症です。認知症は、一気に重症化するものではなく、時間を追うごとに悪化して行き、進行すると日常生活に大きな支障をきたし、その家族や周囲の人たちにも大きな負担となります。

心身ともに健康に老いることは、全ての人の願いであり、その大敵である認知症を正しく知って予防することの大切さを訴えているのがこの本で、神戸大学認知症予防推進センターの先生が認知症診療の現場で蓄積した多くの知識を基に書かれています。認知症の基礎知識として、どのようなタイプのものがあるのかや、肥満、高血圧、糖尿病との関連について解説されています。また、認知症のタイプごとに診療現場の事例が挙げられ、特効薬のない認知症の予防に対する神戸大学のプロジェクトが紹介されています。（と）

持っていたはずの物が急になくなり、時間をおいて不思議な形で戻ってくる…傘、ベレー帽に続き、大事にしているパイプがなくなりました。パイプをとったのは、どこのどいつだ！。現れたのは、水色のオーバーを着た、目のくりつとした男の子でした。水曜日のクルト」と名乗った少年は、決まって水曜日に、水曜日に生まれたこの絵かきの持ち物を盗んでいたのです。そしてそれらはクルトのいたずらによって、本当に困っている人のもとへと渡るのです。絵かきは「大切なパイプは返してほしい」と頼みますが、クルトは楽しそうに笑いながら空へ舞い上がり、あぐくにパイプを遠くへ投げてしまったのです…。

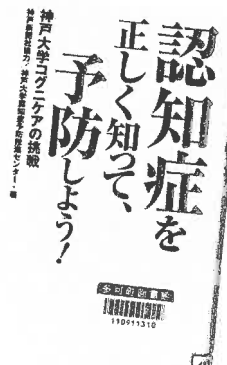
いたずら好きで、どこかにくめないクルトを主人公にした表題作のほか、心優しい水たまりが見た世界を描いた「ある水たまりの一生」、正直で気のいい靴屋がもらった、欲しいものがある本を生む「ふしぎなひしゃくの話」など、余韻が残る6編を収めた、珠玉の童話集です。（あ）

『星を継ぐもの』



ジェームズ・P・ホガン／著
創元社（933ホ）
ジャンル：小説

『認知症を正しく知って、予防しよう!』



神戸大学認知症予防推進センター／著
神戸新聞総合出版センター（493.7コ）
ジャンル：実用書

『水曜日のクルト』



大井三重子／著
偕成社（K913才）
ジャンル：児童書



★ 表紙の人 長野薫さん

3月7日に「親子で楽しむ手遊び・工作の時間」を開催。その際、講師としてお世話になりました。現在、三田市多世代交流館 子育て交流ひろばにて、子育て支援コーディネーターとして活動されています。

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「自由」を支える仕事

京都橋大学教授 嶋田 学

日本国憲法によって「職業選択の自由」が保障されているからと言って、思い通りの職業に就ける訳ではない。権利としての「自由」を、いかに自分にとっての実際的な自由として実現していくかは、その人の生き方にかかっている。ただし、人生のすべての「課題」が「自己責任」を問われるものではない。私たちは一人では生きていけないからこそ、社会というものを構築し、「私たち」の問題を「社会問題」として解決を試み「制度」を作ってきた。

さて、「自由」という時、他者や社会に対して物理的に自由であるということを感じることがあるが、自分の「感情」に対して

いかに自由であるか、つまり自分の心を健全に保てるかということも大切だ。自分の存在を肯定的に捉えられない、肉体的精神的によくない習慣から逃れられないなど、自分を愛せない状況にある人は自由とは言えない。

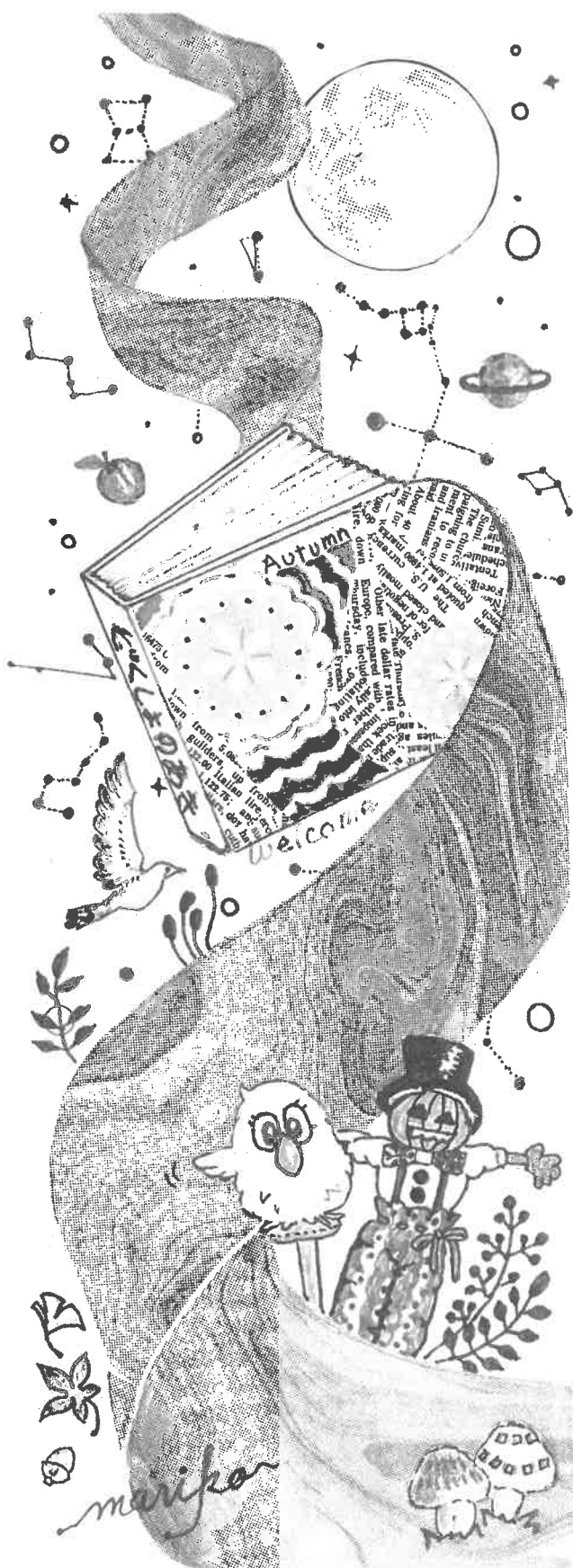
我々は、図書館に何を求めて足を踏み入れるだろうか。就職面接の極意、胸の透く様な冒険譚、禁煙法、酵母。ハンの焼き方、機械製図法、上手な相続の仕方、子どもと楽しむ絵本、自分を取り囲む世界の見かたを少し変えてくれる詩篇……。そこには人々の営み、人生にかかる森羅万象が期待されているのではないだろうか。

図書館員は、そうした人々の願いに、資料提供という仕事で応える。人それぞれの

「自由」の獲得を支える仕事である。それは、人々の「不自由」、あるいは希望への共感を伴わなければならない。しかし、このような理念だけでは仕事にならない。図書館の使命を達成するには、人々の必要を正確に理解し、適切な資料を提供する確かな技術が求められる。そのためには、社会の様々な状況から、人間という存在の在りようまで含めた、広範な興味関心に応える資料を選択し、魅力的に見せていく必要がある。

シカゴ大学の図書館学者であるカーノフスキーは言う。

「公共図書館の役割は、利用者を民主主義における自由の達成へと導くことにある」



言の葉だより

誰もやっていないものを

那須正幹 編

小学6年生のやんちゃなハチベエ、しっかり者のハカセ、おっとりしたモーちゃん3人が活躍する『ズッコケ三人組』はシリーズ累計発行部数が2500万部を超える代表作となりました。

那須さんは昭和17年に広島県に生まれます。小学校時代、少年雑誌の漫画は愛読するものの、読書は苦手。外遊びが好きで、6年生の夏、昆虫採集に出かけたことがきっかけで、虫に夢中になります。大学はその関連の学校に進学しますが、学問としての虫はあまりおもしろくなかったようです。大学卒業後は上京し、車のセールスマンとして働きますが、入社から2年後、配置転換を命じられたのをきっかけに退社。広島に戻り父の書道塾を手伝うことになります。

26才の時、当時児童文学を書いていた姉に誘われ、広島児童文学研究会に参加。とにかく一つ書いてみると言われて物語を書き始めます。研究会に参加するまで「児童文学」という言葉さえも知らない状態で、のちに路傍の石文学賞をもらうことになった時には、慌てて『路傍の石』を読んだというエピソードも。

宝探しをテーマにした物語『首なし地蔵の宝』でデビューし、児童文学者としての道を歩みはじめます。そして36才の時書き始めたズッコケシリーズは約26年続く息の長い作品になります。その後、ファンからの要望に応えるかたちで、3人が大人になった「中年三人組」を書き始め、2016年グランドフィナーレを迎えました。

登場人物の成長を描く物語が当たり前とされていた時代に、あえてそれをせず、自分が子どもだったらどんなものが読みたいか、そういうものをめざして数多くの作品を手がけられています。

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 10月 —

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

— 11月 —

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

休館日

— 12月 —

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

出版社の手違いで、僕のところには本が届くのが遅れ、僕が見るより先に店頭に並んだんです。それを知らず、たまたま広島の本屋さんに行った時、よく似た本があるもんだなあと思い過ぎましたが、待てよ、と戻ってみたら僕の本だった。

— 『人生の流儀』（新日本出版社）より —

那須正幹さんに関するクイズです。

I. 那須さんの代表作『それいけズッコケ三人組』。発売当初のタイトルは「ズッコケ×××」でした。それは何？

①三羽鳥 ②三銃士 ③トリオ ④三人衆

II. 『ズッコケ三人組』の登場人物ハカセが一月かかって読んだ物は何？

①広辞苑 ②日本地図帳
③電話帳 ④郵便番号帳

III. 小学校時代、ある漫画家に弟子入り志願の手紙を出します。その漫画家とは。

①手塚治虫 ②石ノ森章太郎
③横山光輝 ④長谷川町子

IV. 児童文学とのはじめての出会いになった本は何？

①『星の王子さま』 ②『モモ』
③『赤毛のアン』 ④『エルマーとりゅう』

V. ズッコケ三人組は全何巻まで出たでしょう。
①35巻 ②40巻 ③45巻 ④50巻

【参考文献】『現代児童文学作家対談』（偕成社）、『ズッコケ三人組の大研究Ⅱ 那須正幹研究読本』（ポプラ社）、『作家が語る わたしの児童文学 15人』（につけん教育出版社）、『人生の流儀』（新日本出版社）

ビブリンピック

7/21～8/29

毎年夏休み期間中に開催しているビブリンピック。多くの子どもたちがエントリーしてくれました。小学生対象「50冊に挑戦！」では215名、幼児対象「スタンプをあつめよう！」では75名の参加があり、中でも、「50冊に挑戦！」では、参加者が昨年よりも100名以上増えるなど、好評でした。

達成者は、合計144名。夏休みのいい思い出になったかな。

キッズランドかみ4才児

7/16

キッズランドかみ4才児クラスの子も達が図書館に来てくれ、ミニおはなし会に参加した後、1人1冊ずつ本を借りてくれました。図書館でのおはなし会や自分で本を借りたことが楽しかったということで、後日おうちの人と一緒に定例のおはなし会に参加してくれた子もいました。

図書館では毎月第2・4土曜日の午前10時30分～おはなし会を開催しています。ぜひ、ご参加ください。



夏休み課題解決相談コーナー

7/28、8/4

一昨年開催し、好評であった、夏休みの宿題に関する小学生向けの相談コーナーを開きました。応募があったのは、読書感想文の書き方を教えてほしいという4名。

限られた時間でしたが、先生も子どもも一生懸命取り組んでいました。



表紙の人 嶋田学さん

11月6日(土)に多可町図書館でご講演いただく嶋田学さんは、数多くの図書館運営に関わられています。中でも、岡山県の瀬戸内市民図書館では住民と一緒に図書館を作り上げられました。現在は京都橘大学文学部教授(司書課程)として勤務されています。

でんぐり紙でカードをつくろう!

7/31



村上祐喜子先生を講師にお迎えして、2年ぶりに手づくり絵本講座を開催し、14名の児童が参加してくれました。

今回は、広げると蜂の巣のようになるでんぐり紙(ハニカムシート)を使った工作で、切り方や広げる方向によってあらわれる模様が異なります。どんな形になるのか、興味津々で紙を切り始め、オリンピックの聖火に見立てたり、大きなデコレーションケーキにしたりと、立体的で個性あふれる楽しい作品を作っていました。

図書館 NEWS

— 7～9月 —



来館者50万人達成 7/28



図書館が開館してから17年が経過し、おかげさまで来館者が50万人を突破しました。記念すべき50万人目の来館者は小学4年生の松本悠那さん。記念品としてたかタータンで作られたトートバッグが館長よりプレゼントされました。

図書館では様々なジャンルの本を取りそろえています。コロナ禍でおうち時間が増えた今、どんどん図書館をご利用いただければと思っています。

職員一同お待ちしております。

読み聞かせ講座 8/20

講師に尾野三千代さんをお迎えし、「子どもに物語の読み聞かせを」と題してお話いただきました。子どもには、絵を読み解くすぐれた力が備わっており、絵本に描きこまれた成長のモデルを吸収して自分の糧にしていきます。ですからその一助となるような、長年にわたって読み継がれてきた本物の絵本や物語を子どもに手渡すことの大切さを、あらためて心にとめることができる内容でした。



10～11月のイベント

- 10/7(木)～21(木) 中学生理科自由研究作品展示
各学校から選ばれた作品を学習室に展示します。
- 10/23(土)～24(日) リサイクル広場の開催
※入場は予約制です。
- 11/6(土) 嶋田学講演会 13時30分～ 要申込
※いずれも新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては変更・中止する場合がありますので、必ず事前にお問い合わせください。



Book menu

『与楽の飯 東大寺造仏所炊屋私記』



澤田瞳子／著
光文社 (Fサワ)
ジャンル：小説

『古代文明と星空の謎』



渡部潤一／著
筑摩書房 (440ワ)
ジャンル：実用書

『火星は...』



ガン・ルド／文
あすなろ書房 (ETス)
ジャンル：絵本

あるとき宮麻呂が真楯に、「ここでの務めは何だと思っか」と尋ねます。「大仏を造り上げる」とと答える真楯に「無事に生きて帰ること」と諭した宮麻呂。宮麻呂は目に見えぬ仏よりも、今を生きる人間の方がずっと大事だと考えていたのです。

下ごしらえにも一切手を抜かず、自ら山や川へ滋養のある食材を取りに行く宮麻呂。働く男たちのために骨身を惜しまないその姿に、宮麻呂こそが仏に近い存在なのではないかと思う真楯なのです。(あ)

「古天文学」という分野は、古文書、古記録、遺跡や遺物などから、いにしえの人たちが星空をどのように捉え、何を見出してきたのかを研究するものです。天文現象のほとんどは計算により再現可能であるため、これを手掛かりに歴史上の日時推定をしたり、逆に自然科学の情報を得る側面もあります。

先史時代の遺跡、ストーンヘンジの巨石の配列からは、夏至の日の出や冬至の日の入りの方向を示すことが考察されています。当時の人は、祭祀を行ったり冬至のお祝いをしたのでしょうか。

歴史時代に入ると、文字の記録が残されており、平安時代の歌人、藤原定家の綴った『明月記』には、数多くの天文現象が記録されています。なかでも、超新星の出現記録から、現在のかに星雲が千年ほど前に爆発した超新星残骸であるということが明らかになっています。

天文学と考古学の関わりに焦点を当てることで、新しい発見がもたらされ、物言わぬ遺物や遺跡から、そこに生きていた人々の思いや暮らしが読み取れるようになります。

(り)

古い小説に描かれる宇宙人には、火星人が多かったように、私たちの祖先は、地球に近い神秘の惑星、火星に色々と思いを寄せてきました。しかし、長い時をかけ、知れたがり屋の地球人は、火星にも地球とおなじような気象現象や、季節の移り変わりがあることを発見し、ついには、火星まで宇宙ロケットを飛ばし、探査機を着陸させました。

この本には、地球からでは撮影出来ない、火星の周回軌道から高性能カメラで撮った、火星の地表の美しく驚くべき写真が満載されています。(と)

秋も深まり、空気が澄み、夜空が綺麗な季節となってきました。夜、空を見上げると無数の星が輝いています。その中の一つに太陽系第4惑星の火星があります。火星は、地球のすぐ外側の軌道で太陽を回る天体で、大きさは、地球の約半分です。青い色の地球と比べると、太陽の光を受けて、赤い色に見えます。これは、地球には大きな海があるけれど、火星には、海がなく、鉄さびのようなものを含む赤い土で覆われているからです。

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区糀屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<https://www.town.taka.lg.jp/library/>

「子どもってすごいー」
読書ボランティア
おはなしたんぽぽ代表 尾野 三千代
おはなし会で『かんちがい』(吉田遠志／文・絵 福武書店)を読み聞かせた時のことです。
この絵本はアフリカの草原が舞台の動物絵本で、母サイがゾウに脇腹を角で突き刺され、サイ鳥が傷口をきれいに治すという共生を紹介しています。
その日はいつもより幼い子が多くて「聞けるかしら…」と心配しました。伝統木版画の表紙から見返し、扉へ、ゆっくりとア

フリカの草原を見せながら「のはらに、サイのおかあさんとサイのあかちゃんがいきました。サイのおかあさんのよこはらには、大きなきずがありました。」と読み始めたたん、それは杞憂だとわかりました。
子どもたちの首がすーっと伸びて、目は傷口に釘付けです。サイが怪我をした理由にじつと耳を傾け、サイの親子を見つめていました。ところが、次のページでは母サイの傷が見えません。歩く向きが変わったので傷は体の反対側にあるのです。すると突然四歳の女の子が立ち上がって、私の横にきて絵本の裏側をのぞきました。傷が見えると思ったのでしょうか。「ない…」と女の

子は困り顔。わたしは目で相槌を打つと黙って、女の子が元の所に座って絵本に顔を向けるのを待ちました。それから次のページをめくってみると、そこには最初のページと同じ版画があつて、「…サイのあかちゃん、とてもしんぱいしています。…」と書いてあり、赤ちゃんサイが最初のページからずっとお母さんを心配し続けていたことがわかります。わたしはこの瞬間、女の子がサイの赤ちゃんになり切つてアフリカの広大な草原で「人ごと」を「我がこと」のように体験していたことに気がつきました。ほんの一分間ほどのことですが、心震えるできごとでした。



言の葉だより

行動する小説家

瀬戸内 寂聴 編

数多くの恋愛小説や伝記小説を書き、寂聴さんで親しまれている瀬戸内寂聴さんこと、瀬戸内晴美さんは1922年(大正11年)に徳島県の神仏具商の家に生まれます。家業の影響を受けてか、小学校に上がる前には「祝詞」も「般若心経」も空で一句つかえず言えるようになっていたとか。また、5才の時には自分1人で幼稚園へ行き、そのまま入園したというエピソードも残っており、この頃から行動する小説家としての素質を発揮していたのかもしれません。

20才の時、親のすすめで結婚。その後、娘を授かりますが、道ならぬ恋に落ちます。さらに小説家になるという小学生の頃からの夢を捨てきれず、26才の時、夫と娘を残して出奔、京都に居を移すのでした。

28才の時、上京。三谷晴美のペンネームで投稿した少女小説『青い花』で初めて原稿料を得ます。そして35歳の時、『花芯』を「新潮」に発表するも、ポルノグラフィであると批評され、徹底的に文壇ジャーナリズムでたたきつけられます。しかし、円地文子や室生犀星、吉行淳之介などから激励の手紙をもらい再起をはかります。そして41才の時、だったひとつの自信作と後に言う『夏の終わり』を発表し、女流文学賞を受賞したのでした。

51才の時出家し、65才の時には天台寺第73世住職に就任します。その後、住職を退く2017年まで、人生の機微に通じ、温かく人を包み込むような寂聴さんの法話「青空説法」には、全国から数多くの方が足を運び、耳を傾けられています。

86才の時にはケータイ小説に挑戦するなど、常に好奇心旺盛で、全国を飛び回り、自分の目を見たこと、知ったことを多くの方に伝え、99才まで精力的に活動されたのでした。

◆◆◆ 多可町図書館カレンダー ◆◆◆

— 1月 —							— 2月 —							— 3月 —						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28						27	28	29	30	31		
30	31																			

休館日

【こたえ】Ⅰ…④ Ⅱ…① Ⅲ…④ Ⅳ…④ Ⅴ…④

私は、人生とはなにかに会うこと、巡り合うことの重なりだと思います。この世でだれかに巡り合うことは、人生の大切なことです。(中略)私は人間が生きている限り、その死ぬ瞬間まで、なにかに会うのだと思います。

— 『瀬戸内寂聴の世界』(平凡社)より —

瀬戸内寂聴さんに関するクイズです。

- 京大の付属病院の小児科図書室に勤めていた時、ある作家にファンレターを書きます。それは誰?
①遠藤周作 ②川端康成
③谷崎潤一郎 ④三島由紀夫
- 得度後、50の手習いとして始めたのは習字、英会話、お茶、漢文、あと1つは何?
①仏像を彫る ②水墨画を描く
③ヨガ体操 ④陶芸をする
- 源氏物語のある部分のストーリーを題材に能の台本を書くことになります。その演目とは。
①葵上 ②須磨源氏 ③住吉詣 ④夢浮橋
- 86才の時ケータイ小説に挑戦します。その時のペンネームは?
①れっど ②いえろー ③ぴんく ④ぱーぷる
- 寂聴さんが愛用していた原稿用紙は?
①文房堂製 ②コクヨ製
③満寿屋製 ④紀伊國屋製

【こたえ】は右下にあるよ

【参考文献】『瀬戸内寂聴の世界』(平凡社)、
『晴美と寂聴のすべて』(集英社)



【表紙の人】尾野三千代さん

神戸教育短期大学で絵本専門士認定講座をご担当。図書館等でおはなしボランティア関係の講師を務められ、今年度、多可町図書館でも読み聞かせ講座とストーリーテリング講座の講師としてお世話になっています。



『新しい星』



彩瀬まる／著
文芸春秋（Fアヤ）
ジャンル：小説

『旅が好きだ！
21人が見つけた
新たな世界への扉』

河出書房新社／編
河出書房新社（290力）
ジャンル：実用書

『青い宇宙の冒険』



小松左京／作
講談社（K913コ）
ジャンル：児童書

大学時代に合気道部で4年間一生懸命倶楽部活動に打ち込んでいた森崎青子と安堂玄也、日野原茅乃、花田卓馬のお話です。大学を卒業した4人は、それぞれの生活を送っていたのですが、33歳になった頃、大学時代の仲間の病気がきっかけで、4人の交流が再び始まりました。

卒業後の4人の生活は、順調とはいえず、青子は、学習塾の講師として働いていましたが、生まれたばかりの子どもが2カ月で亡くなってしまい、そのため離婚して、実家に帰っていました。玄也は、勤め先の会社に新しく入ってきた上司からパワハラを受け、仕事をやめて、家に引きこもっていました。会計士として順調に仕事をして、家庭もうまくいっているように見えていた卓馬までが、離婚してしまっていました。そして、癌を発症し、手術後リハビリを続けていた茅乃を励ますために4人が大学時代に利用したことがある、紀尾井町道場に集まりました。その後、癌を再発した茅乃は、一人娘の菜緒を残して亡くなるのですが、茅乃が亡くなった後も4人の友情は続いていくのでした。（と）

タイトルに共感して、手に取られた方もおられるのではないのでしょうか。この本では作家や漫画家など無類の旅好き21人が、全力で旅の魅力を伝えています。「世界中のパンを食べてみたい」という気持ちから始まった旅や、「美術品の添乗員」として旅に出る学芸員など、スタイルも様々です。著者の一人、たかのてるこさんは「ニュースで知る世界は恐ろしく感じられたのに、実際の世界は優しさに満ち、旅先で本当に困ったときには、必ず助けてくれる人がいた。同じ地球で、同じ時代を生きる仲間なんだと思わせてくれた」と語っています。一人旅が好きなのの中には、同じような思いをされた方もいらっしゃるでしょう。以前は国内外を問わず気軽に旅行した旅が、コロナ禍でもっとも遠いものになりました。やはり旅を自由に楽しむには「平和と安全」が不可欠です。今できるのは、これまでの旅を思い返したり、次に行く旅を検討したりすることぐらいかもしれません。しかし、また自由に旅に出られるようになったときには、この本が新たな世界への扉を開くきっかけになるかもしれませんよ。（あ）

毎夜11時になるとまもるの家の下から聞こえる不気味な振動音。床下の、地面の底から響いてくるような音です。この音の正体をつきとめるべく、まもるの住むこうじが丘へ調査に行った4人、まもると同級生のとも子、ふたりが通う中学校の小野寺先生、そして三枝先生は、音が鳴り響く崖下で砂に吸い込まれるように地中へ落下してしまいます。地底の洞窟をさまよううちに、ドイツ人の物理学者ウィットテンベル博士と、アフリカの青年ギザボに出会います。彼らもまたそれぞれが、気がつくや突然洞窟の中にいたというのです。この、ドイツやアフリカと時空が繋がった地下の隙間は、どうやら宇宙船らしいのです。そこにいた瀕死の生物は、「青い宇宙へ行って、青い宇宙を救ってくれ」と言い残しました。オンボロ宇宙船を操縦できるのは、意志を持つまもるたちの力なのだ。本当に、わたしたちの太陽系が属するこの宇宙以外に、青い宇宙や他の宇宙が存在しているのでしょうか。ロボットのリルアに導かれ、まもるたち6人の多元宇宙への冒険が始まります。（り）

多可町図書館講演会

図書館 NEWS

— 10～12月 —



11/6

「未来をつくる図書館とは」と題して、京都橘大学教授の嶋田学さんに講演いただきました。嶋田さんは岡山県の瀬戸

内市民図書館の立ち上げに携わられています。「もちより、みつけ、わかちあう広場」（もみわ広場）をメインコンセプトとした図書館づくりを準備室から開館に至るまで、約5年の歳月をかけ、住民と共に進められました。地域に役立ち、暮らしに根ざした図書館を考えていくうえで、とても有意義なお話でした。

本のリサイクル広場&布絵本作品展 10/23～24

例年図書館まつりの際に実施している本のリサイクル広場ですが、今年度もコロナ禍ということで、昨年を引き続き、単独での実施になりました。また、密にならないように入場制限を設けた開催となりましたが、多くの方がご来場くださり、多くの本をお持ち帰りいただきました。



また、布絵本サークルの作品も3点展示。紙とは違う布のぬくもりが伝わる作品ばかりで、細かなパーツを動かしたりして、子どもたちは楽しそうに遊んでいました。展示が終わった作品は図書館（室）や子育てふれあいセンターで活用させていただいています。

雑誌の付録抽選会 12/11

最近の雑誌には魅力的な付録がよくついています。それを日頃の感謝を込めて、対象期間中（11/4～12/5）に、20冊以上の本を借り、参加をご希望された方に応募券をお渡ししました。応募総数は187名。その中から抽選で60名の方に付録をプレゼントしました。22年度も実施予定です。ぜひ、ご参加ください。

図書館ではみなさんに楽しんでもらえる企画を考えていますので、お気軽にお立ち寄りください。

クリスマスおはなし会&チェロミニコンサート 12/25

恒例のクリスマスおはなし会では、パネルシアターなどをおはなしサークル「あいあい」のみなさんで開催いただきました。また、今回のミニコンサートは石塚優さんのチェロ演奏。絵本に囲まれながら、重低音なチェロの響きにうっとり聴き入りました。

子どもにおはなしを届ける技
～ストーリーテリングとなぞり聞かせ～

10/7、
11/18、
12/16
(全3回)

講師：尾野三千代

昔話は、余分なものがそぎ落とされ、面白い部分が増幅されて今に至ります。中には残酷な話もありますが「人として正しくないから、ひどい目にあう。現実には“グレーなこと”がほとんどだからこそ、語り手がきっぱりとした善悪の観念をもち、子どもたちに白黒はっきりしたモラルをつたえることが大事」と話されました。また、暗記せずにおはなしを届ける“なぞり聞かせ”についても学び、参加者全員で実際に体験しました。

中学生理科自由研究作品展

10/7～21



今年度も図書館の学習室にて自由研究の作品展が開催されました。どの作品も、時間をかけ丁寧に研究されており、来館された人も熱心にその研究成果に見入っていました。中にはうずらの卵から孵化させた研究もあり、びっくりしました。

子どもに定番絵本の読み聞かせを 10/21

講師：尾野三千代



定番絵本とは、50年以上の時を超えて子どもたちに読み継がれている絵本です。良い絵本は親子の仲立ちになって子育てを楽にしてくれます。家庭での読み聞かせにはたくさんの良いところがあるとの内容に、受講生たちは熱心に聞き入っていました。

キッズランドかみり才見

11/17



35人の子どもたちが図書館見学に来てくれました。おはなし『世界でいちばんきれいな声』では話に聞き入って頷く姿が見られたり、絵本『びっくりまつぼっくり』では、ぬれたり乾いたりして形が変わる不思議なまつぼっくりの姿に、歓声が上がったりしていました。その後児童書のコーナーへ移動、興味のある本を手に取り1冊ずつ借りました。またご家族と一緒に遊びに来てくださいね。